

みどり戦略における「見える化」の取組

環境負荷低減の「見える化」の取組に関心を示した事業者によりWEB会議等により課題を明確にするなどサポートした結果、県内で6事業者が「見える化」の取組に参加。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

(温室効果ガス削減「見える化」実証事業)

○ きっかけ・背景、課題の把握

みどり戦略を消費者に理解してもらうツールとして「見える化」は重要な取組だが、中国四国農政局管内には取組を行っている事業者が無いため、参加する事業者の掘り起こしを行う必要。

○ 取組の内容

令和5年5月に開催されたG7広島サミットで、本省・本局と連携して広島県農産物の「見える化」の展示の働きかけを行うとともに、事業者に「見える化」を積極的に周知。

「見える化」に関心を示した事業者については、本省と連携し、WEB会議等を随時開催し、事業者の課題を把握し、算定シートの作成に必要なデータの収集方法を指導するなど「見える化」の実現に向けたサポートを行い、取組を促進。

○ 効果・成果、今後の方向性

県内の6事業者が「見える化」に取り組むことになっただけでなく、小売店に加え、外食事業者や加工品での取組が進むなど、消費者が「見える化」の商品に接する機会が増え、消費者がみどり戦略に対する理解を深める環境が整備された。

今後も、当拠点主催のイベント等を活用した情報発信を積極的に行い、事業者に「見える化」の取組を促すとともに、消費者への理解の醸成を図る。

お米



藤本農園 (庄原市)
店舗販売、インターネット販売

レタス



モスバーガー (外食)
広島県内の店舗で販売

ミニトマト



グリーンファーム沖美 (江田島市)
広島市内のスーパーで販売

ぶどう



うねいファーム (福山市)
インターネット販売 (加工品)